

学校教育自己診断の記述について

多くの貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見はぜひ参考にさせていただきます、今後の教育活動につなげていければと考えております。

また、いただいたご意見に関わって一部ご説明させていただきます。

(1) 進路について

一人目のお子さんで経験がなく大学受験について分からない、進路意識を早く持たせてほしい、また懇談を増やせないかというご意見をいただきました。

平成 22 年度は、学年通信（Early Birds、和気致祥）や進路指導部の進路通信（1 年版 POLE STAR、2 年版 Sign Post、3 年版 Winning Road）等を発行し、各学年における夏休み期間の過ごし方など時期に応じた学習への取り組み方や進路意識を高める話題等を提供しています。1 年生の 10 月に大学見学会を実施し、2 年生の 6 月に進路別説明会を外部講演者を招いて実施するなど、卒業後の進路についての意識や日ごろの学習へのモチベーションを高める行事も実施しています。また、進路指導室の資料を参考にさせていただくこともできます。それから 6 月、11 月の懇談週間のときだけでなく、いつでも担任にご相談いただければと思います。

(2) 施設設備等の改善について

校舎の建て替えを含め施設設備の更新についてご意見をいただきました。

旭高校は創立 60 年を迎えようとしています。一部増築部分もありますが大半は創立以来の校舎になっています。ですので、部分的な補修は必要に応じて実施しておりますが、抜本的な更新について学校としましても府に要望しているところです。しかしながら現在、大阪府は校舎の建て替えはしていません。約 15 年前に阪神淡路大震災がありました。それ以来、府の施設全体の耐震工事を優先しています。本校も平成 23 年度に南館に耐震工事を施工します。そのほか北館のトイレの改修工事等も予定されています。大阪府の財政事情もあり、建て替え等はいまのところ予定が立たない状況であることをご理解ください。エアコンの設置については現在 HR 教室と音楽室等一部特別教室のみとなっています。来年度以降に、もう少し特別教室にもエアコンが設置されるようです。

(3) 補習・講習について

大学進学に向けての指導や、休んだりしてわからないところを教えてくれる補習の実施についてご意見をいただきました。

学習は授業が基本です。まずは毎日の予習・復習を確実にし、習ったことはすべて自分のものにするという心構えを持つことが大切です。わからないところがあれば、その時にそれを解決することがその後の学習をスムーズにします。友人や先生に聞いたり参考書を調べたりといろいろな方法があります。自分が一番やりやすい方法でまずは解決しましょう。あと「継続は力なり」というように地道にその努力を積み重ねていきましょう。また

土曜講習を一部実施していますが、部活動などで参加したくても参加が出来ないということもあるかもしれません。しかし、だから部活動の時間に制限をつけるとかいうのではなく、たとえば使ったプリントを後日もらいに行くとか、どのような内容だったのか友人や先生に聞くとかで自分から積極的に動いてほしいと思います。学習に対して受け身の気持ちにならず、自分から行動を起こしてこそ、そこで学んだことが自分の身に付きます。また、本年度の夏期には進学講習が開講されていました。それらもぜひ活用してください。

(4) 部活動について

部活動の練習時間や指導方法についてご意見をいただきました。

部活動は自主的活動ですが、参加している生徒にとっては授業以外に最も時間をかけている部分であり、また大きな楽しみでもあります。高校時代の友人は部活動関係しか残っていないという保護者の方も多いのではないのでしょうか。一緒に汗を流して一つの目標に向かって協力して努力するというのは、何物にも代え難い経験になります。一方で学習の時間がとりにくくなるということがあります。勉強のために部活動をやめるという生徒もいますが、やめたから勉強時間が増え成績が上がったというのはあまり聞きません。むしろ、部活動をしながらか時間がなくて、いかに効率よく勉強する時間をつくるか、それを追求するほうがいいと思います。一つのことを最後までやり遂げた成就感、充実感と時間の有効な使い方、それが受験勉強では最終の追い込みにくくと効いてきます。頑張りましょう。

(5) 授業について

授業の進度・板書・説明の仕方等、工夫の余地があるのではないかとのご意見をいただきました。

授業は学校教育の根幹ともいえるものですから、最も大切にしなければならないところです。生徒向けの学校教育自己診断とともに、今年度10月には新たに全学年全科目で生徒による授業アンケートをとらせていただきました。その結果を踏まえ、各教科において検討・改善を行っているところです。個々の生徒に目を配り、それぞれの生徒にとって受けてよかった授業の実現を目指し取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(6) 生活指導について

制服の着方、化粧、アクセサリなどについて、もっと強い指導を望まれている方がある一方、思っていたより厳し目であった、あるいはもっと生徒の自主性に任せてはどうかというご意見をいただいています。

毎朝登校時の校門での指導や日常機会あるごとの指導によって、遅刻・頭髪等については相当な改善がみられています。制服についても指導しているところですが、一部短いス

カートをはき、また化粧をしている生徒がいることも事実です。服装の乱れは心の乱れとかわれます。形から厳しくする指導もありますが、生徒の内面に訴え、自らを律する心を養って自分の心から改善していくことが理想であると考えます。ご家庭のご協力をいただきながら、これからも生徒の将来のためにしっかりとした生徒指導をしていきますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

(7) 行事について

文化祭や体育祭について、もう少し力を入れてほしいというご意見がある一方、準備によって勉強する時間がとれなくなるというご意見、また、文化祭当日に不愉快な思いをしたというご意見をいただきました。

体育祭や文化祭などの行事については準備が全てといっても過言ではありません。生徒それぞれの役割によっても違いますが、相当な時間とエネルギーをかけている生徒が多くいます。やり終えたときの成就感や充実感、友達との一体感などその準備にかけた情熱以上の物が後に残りますのでぜひやり遂げてほしいのです。そして、最も大事なことは終わった後に気持ちの切り替えがさっと出来て、今度は勉強に全力集中するというようになることです。行事に参加することも大切ですが、勉強に力を入れることはもっと大事です。バランスをうまく持てるよう指導いたしますので、ご家庭からもご協力よろしくお願いいたします。また、文化祭当日に保護者でありながら入場券がなく入れなかった方がおられたとのことについてですが、過去の出来事から反省し本校では入場券制をとっています。ご理解いただきますようお願いいたします。それから、中庭での発表が見づらいこと等については、クーラーのない体育館の異常な蒸し暑さなど生徒、観客双方の体調管理も必要な中での発表場所の選択ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。